

<b>2014-B</b>					
<b>拠出金・基金の名称</b>		OECD科学技術指標専門家会合(NESTI)への任意拠出金			
<b>種 別</b>		イヤーマーク      ノン・イヤーマーク			
<b>【拠出先の国際機関名】</b> 経済開発協力機構					
<b>【所管官庁担当局課・室名】</b> 文部科学省 科学技術・学術政策局 企画評価課					
<b>【当該任意拠出金の目的・用途等】</b> NESTIの活動の重要性を鑑み、邦人職員のOECD事務局への派遣					
<b>【最近3年間の我が国支払額及びODA率】</b>					
<b>単 位</b>	<b>邦 貨 (千 円)</b>	<b>外貨1 (千ドル)</b>	<b>外貨2 (千 )</b>	<b>レ ー ト</b>	<b>ODA率(%)</b>
平成26年度	23,296	182	—	1(通貨) = 128円	0
平成25年度	19,474	182	—	1(通貨) = 107円	0
平成24年度	20,384	182	—	1(通貨) = 112円	0
<b>【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】</b>					
<p>・NESTIはOECD/CSTP(科学技術政策委員会)の下部組織のひとつであり、科学技術関連指標について、国際比較のための枠組づくりの観点から、統計調査の方法や指標の開発等に関する検討を行っている。国際社会のグローバル化が進み国際競争が激化している中で、NESTIで進めている国際比較可能な科学技術指標の整備は、我が国の科学技術・イノベーション政策を推進する上で必要不可欠であると評価している。</p> <p>・2014年の活動としては、6月の会合において、2012年会合で着手されることが決定された Frascati Manual(注1)の改訂に関して、改訂の要点や今後の改訂作業方針・作業計画についての合意がなされた。また、各種活動(イノベーションに関する測定枠組みの見直しと改善、科学のインパクトに関する活動等)についての報告の他、作業計画2015-2016に関し Oslo Manual(注2)の改訂に向けた活動を行うこと及び Blue Sky III Conference2016(注3)の計画の概要等についての合意がなされた。</p> <p>(注1) OECDが定める、科学技術活動に関するデータの収集・分析のためのガイドライン。加盟国は本マニュアルに基づいて科学技術指標を測定するよう求められている。</p> <p>(注2) OECDが定める、企業におけるイノベーションの測定のためのガイドライン。</p> <p>(注3) 科学技術・イノベーションの測定の枠組み・基盤・指標等に関する今後の展開に指針を得ることを目的とし、OECD諸国を越えて広く参画を募る唯一の国際的会合であり、過去10年毎に開催されている。</p>					